KOSEIKAN MESSAGE

基幹災害拠点病院として備えてまいります

秋は心身ともに健康にありたい季節です。好生館は本年3月に管理棟が竣工し、高度救急医療の提供を目指しています。また、管理棟は基幹災害拠点病院として災害医療、DMAT体制などに備えたものです。

好生館の病院機能は急性期医療の提供を主としています。外科系診療や急性期病院に対する診療報酬支援が、皆様に還元できる医療につながるように努めます。

平成28年熊本地震が甚大災害をもたらし復旧が進み復興半ばでしたが、令和8年熊本地震が発災しました。前回震源の布田川断層と交差する日奈久断層が震源で前回震源地と近い場所でした。前回同様の甚大災害ですが被災者、被災状況が前回と異なる特徴があります。九州各県は特に被災支援に努めたところです。好生館は地震発生7月28日のDMAT派遣に始まり、短中期に多職種の派遣、支援要請があり可能な限り対応し、延べ21名が支援をしました。今後も中長期の視点の災害支援が必要と思われます。地震のみならず災害に対しては平時の備えと訓練が基本です。好生館は基幹災害拠点病院として備えてまいります。

皆様のご健勝を祈念いたします。今後とも好生館のご支援ご指導をよろしくお願いいたします。



理事長　樗木 等（おおてき ひとし）

好生館公式YouTubeチャンネル

令和8年度 県民公開講座のご案内



8月29日（土）、アバンセホール（佐賀市）で「県民公開講座」を開きました。テーマは「骨の“ホンネ”を答えます！～骨と関節を学んで、いつまでも元気に歩くために～」。好生館の整形外科医・理学療法士・管理栄養士が、骨と関節のしくみをやさしく解説し、いつまでも元気に歩くための運動や食事のコツをお伝えしました。





当日の講演の様子を好生館公式YouTubeチャンネルで公開中です。左記二次元コードからぜひご覧ください。

好生館だより Vol.72 に対する
ご意見・ご感想を募集しています！

表紙のトリビア



シマリスは秋、頬袋いっぱいに木の実を運んでため込み、体重を増やします。けれど冬眠でエネルギーを使い切り、春には元の体に戻る。人間に冬眠はありません。増えた分は、そのまま残ります。だから食欲の秋は、よく噛んで、ゆっくりと。歩く時間も、少しだけ増やして。それだけで体は応えてくれます。

地方独立行政法人　佐賀県医療センター好生館
〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL 0952-24-2171（代表）　FAX 0952-29-9390

ホームページ　YouTube　Instagram　X　LINE　facebook